

京都の伝統産業

Traditional Industries of Kyoto

京七宝



金属の上にガラス質の釉薬をのせ約750度の温度で焼き付ける。主な技法である有線七宝は、リボン状の銀線で模様を描き、釉薬を焼き付け制作する。安土桃山時代には宮殿の釘隠し、引き手、文具等様々な物が七宝でつくられ、明治時代には更なる改良がなされ、技術の高さは世界で評価された。現在では、花瓶、額、アクセサリー等がつけられている。

安土桃山時代 1573-1603

明治時代 1868-1912

制作：京都市

京都の伝統産業

Traditional Industries of Kyoto

京七宝



金属の上にガラス質の釉薬をのせ約750度の温度で焼き付ける。主な技法である有線七宝は、リボン状の銀線で模様を描き、釉薬を焼き付け制作する。安土桃山時代には宮殿の釘隠し、引き手、文具等様々な物が七宝でつくられ、明治時代には更なる改良がなされ、技術の高さは世界で評価された。現在では、花瓶、額、アクセサリー等がつけられている。

安土桃山時代 1573-1603

明治時代 1868-1912

制作：京都市